

アメリカには悪魔と契約出来る十字路がある…。

クラシック・シネマ

『クロスロード』

悪魔と取引して成功を得たブルース・シンガーの伝説を基にしたロードムービー。途中までは青春の旅路を流離う青年の成長物語、クライマックスでは一転、悪魔とその眷族との戦いに発展。ブルースギターの演奏で勝負するのです。馬鹿馬鹿しいと言ふなかれ、燃えます！

これが初めて女性を劇場に呼んだポルノ映画だ！

クラシック・シネマ

『エマニエル夫人』

1973年に公開されるや世界的大ヒット。日本では女性が大挙して観たと言われるエロティックムービー。美しいタイを舞台に性の遍歴を経て、自己を開放する女性像をフォトジェニックな映像で描きます。DVDは完全無修正！

『タイタニック』の元ネタになった
時空を越えた悲恋物語

クラシック・シネマ

『ある日どこかで』

劇場初公開は大コケ。しかしその後、口コミでファンを増やし、公開四半世紀以上経った今でもファンの集いが催されるタイムトラベルラブロマンス。クラシカルな絵作り、美男美女の主演カップル、甘い音楽が涙腺を直撃。『タイタニック』の元ネタと言われる愛の秀作。

アイルランドの美しい大自然の中、
燃え上がる女の欲情…。

クラシック・シネマ

『ライオンの娘』

『アラビアのロレンス』の巨匠デイヴィッド・リーンが魂を込めて描いた女の性。緻密な人物描写で描き出される愛情の交錯は3時間を越える上映時間を一時も飽きさせません。圧巻は徹底的に粘って撮影されたアイルランドの風景。その美しさは筆舌尽くし難し！

20世紀アメリカ文学の最高峰、完璧な映画化！

クラシック・シネマ

『華麗なるギャツビー』

F・スコット・フィッツジェラルドの同名小説の映画化。この人しかいないと言われたロバート・レッドフォードがギャツビーを好演。CGに頼らず、ロケで再現された1920年代の世界は見もの。ラストの切なさは先年のディカプリオ版を遥かに凌駕。必見です。